

北海道立北方民族博物館 開館20周年記念企画展

北にくらす子どもたち

Children of the North



2011. 2.10 (木) ~ 4.10 (日)

◆開館時間 9:30~16:30

◆休館日 月曜日、3/22(火) *3/21(月)は開館

◆観覧無料

主催：北海道立北方民族博物館

協力：二風谷アイヌ語教室、渥美一弥氏、大島稔氏、風間伸次郎氏、岸上伸啓氏、葛野浩昭氏、久保田亮氏、呉人恵氏、本多俊和(スチュアート ヘンリ)氏、関根真紀氏、高倉浩樹氏、津曲敏郎氏、西村幹也氏、原ひろ子氏

 **北海道立北方民族博物館**
Hokkaido Museum of Northern Peoples

<指定管理者：(財)北方文化振興協会>

〒093-0042 網走市字潮見309-1 (天都山・道立オホーツク公園内)

◆網走バス天都山線・北方民族博物館前 *運行日にご注意ください*

Tel 0152-45-3888 / Fax 0152-45-3889 <http://hoppohm.org>

北方地域にくらす、さまざまな先住民族の子どもたちの様子を、多くの写真や資料で紹介します。伝統的なくらしとともに、現代の教育や民族文化の継承などにも焦点を当てます。親族や社会のなかで、遊び、学び、働きながら成長する子どもたちの表情をぜひご覧ください。また、来館した子どもたちが楽しめるように、ゲーム・おもちゃや本も用意しています。



育つ

子どもが誕生すると、慣習にしたがって命名され、親族らに守られながら育ちます。しつけなど育児の方法・考え方や、成長に伴う儀礼、親族との関わりなどについて、共通点や民族によって異なる点などを見ていきます。

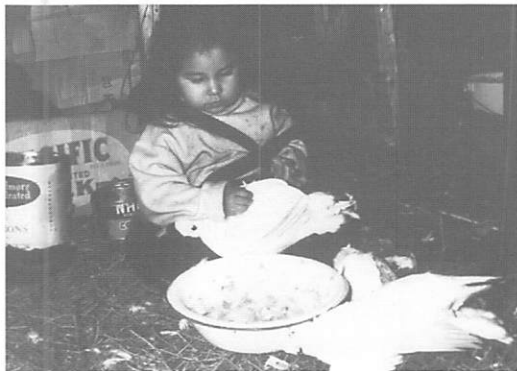
ゆりかごで眠るウリチの子ども（ロシア・ハバロフスク地方／1960年／A.V.スモリヤーク氏撮影）

トナカイ毛皮製のパーカを着た子ども。カナダの極北でも、作るのに手間がかかる毛皮の服を着る人は少なくなってきているが、幼い子に暖かいものをとの親心（カナダ・ヌナブト準州／1990年／スチュアート ヘンリ氏撮影）



学ぶ

子どもは遊びをとおして、また、年長者の行動を見て、まねて、さまざまなことを覚えていきます。伝統的な生活では、ある程度の年齢になった子どもは、働き手として家族のなかでの役割も果たしてきました。現代ではどの地域でも学校教育がおこなわれ、学びの形も変わってきています。



ライチョウの羽をむしる3歳の女の子（カナダ・北西準州／1962～63年冬／原ひろ子氏撮影）

美術の時間に学んだコースト・セイリッシュのデザインの櫓を披露する児童たち（カナダ・ブリティッシュ・コロンビア州／2004年／渥美一弥氏撮影）



〈期間中の行事〉 ☆2月10・11日は開館記念のため、常設展示観覧料が無料です☆

2月11日(祝) 10:00-12:00 常呂少年自然の家合同イベント「雪あそび」+「スノーシューで遊ぼう」(保険料:100円)

指導:佐藤拓也氏・宇田川頼志氏(北海道立常呂少年自然の家指導員)、菅原章子(当館解説員) ほか

同 11日(祝) 13:30-15:00 開館20周年記念講演会「北にくらす子どもたち」講師:岡田淳子(当館館長) 無料

*会場はオホーツク・文化交流センター(エコーセンター2000)2階・大会議室

2月20日(日) 10:00-、15:00-(各30分) 企画展解説会 案内:齋藤玲子(当館学芸主幹) 無料

同 20日(日) 13:30-15:00 開館20周年記念コンサート「遊牧の民の調べコンサート、スライド&トーク」 無料

出演:西村幹也氏(NPO法人しゃがぁ理事長)、ドルジバラム氏(馬頭琴奏者)、リヤス・クグルシン氏(ドンブラ奏者)

3月4日(金)・5日(土) 13:00-16:00 講習会「ビーズ細工」講師:笹倉いる美(当館主任学芸員) *定員は各日16人 無料

3月12日(土) 13:30-15:00 学芸員講座「ウイルトア文様の秘密」講師:笹倉いる美(当館主任学芸員) 無料

参加を希望される方は、事前にお申し込みください。持ち物が必要な場合もありますので、詳細はお問い合わせください。

